

日 時 令和3（2021）年3月16日（火） 午前10時～正午

会 場 柏崎市立図書館 2階 多目的ホール

出席委員 三井田会長、田村副会長、本間委員、松田委員、阿部委員、丸山委員（6人）

欠席委員 関原委員、野村委員（2人）

事務局 鈴木館長、飯田館長代理、小林係長、大木係長、田村主任

1 開会あいさつ(会長)

会 長 ようやく春めいてきたが、春以来コロナ対策や記録的な大雪と大変な一年だった。図書館はコロナ対策でイベントの中止や消毒など対応に追われた大変な年とお察しする。本日は今年度最後の協議会。どうぞよろしくご審議をお願いしたい。

2 報告事項

(1) 令和2（2020）年度事業報告について（資料1）

(2) 令和2（2020）年度利用統計（資料2）

(3) 新型コロナウイルス感染症の対応について（資料3）

会 長 初めに報告事項をお願いしたい。

事務局 例年第2回協議会は10～11月頃県立図書館で研修がある。午前は協議会、午後は研修会に参加の予定だったが、今年度はコロナ感染拡大防止により県の研修会が中止。当館もコロナで1回目の協議会が例年より遅い時期の開催だった。その後、報告事項も少ないため、今回3回目の内容を2回目として開催した。年度が終わっていないので中間報告としてご承知おきいただきたい。

事務局 令和2（2020）年度事業報告について、(2) 令和2（2020）年度利用統計について、(3) 新型コロナウイルス感染症の対応について報告する。（資料1・2・3説明）

会 長 報告いただいた(1)(2)(3)について御質問等あるか。

委 員 学習読書室、多目的ホール、会議室をどのように制限をしたのか。

事務局 コロナウイルスの状況により段階的に制限したが9月19日以降、学習室は100席のところ40席、現在1テーブル1人にし、間隔を広げ、席を設けた。ホールにも席を用意した。展示ホールは2mごとに間隔を空けて人数を制限。多目的ホールは40人を上限。会議室は2部屋合わせて50人。講座「絵本の時間」は20人、上映会は35人。1階書架の席も半数にしている。

委 員 何人になったからご遠慮くださいではない。

事務局 そのとおり。

委 員 その時点での対応が迅速。講座「絵本の時間」ではボードを手作りしていただいた。朗読イベントではフェイスガードを用意いただいた。ありがたい。

委 員 的確に対応。苦勞されたと思う。上手に密を避け、対応したようだが、何か問題はなかったのか。

事務局 利用者の御理解もあり、トラブルがなかった。

(4) 子ども読書活動推進計画の進捗状況について（資料4）

事務局 今年度の子ども読書活動推進はコロナ禍の中、イベントや講座の中止、ボランティア活動ができない等、推進するのに難しい年度だった。委員の皆様もそれぞれのところで読書推進に御理解・御協力いただき感謝申し上げたい。各関係課からいただいた実施状況を報

告する。(資料4について説明)

- 会 長 コロナ禍の中、推進するのが大変だったと思う。きめ細やかに対応いただいた。ブックスタート講座の中で、孫育て講座やBP講座がある。BP講座は何か。
- 事務局 孫育て講座やBP講座は生涯学習課で担当。既に孫育て講座で当館のPRをした。講師も絵本で子育ての大切さを伝えていると思うが、私共現場からも図書館の利用、読み聞かせの大切さを担当司書職員から話をした。受講者からは興味を持っていただき、行ってみようという声も聞けた。
- BP講座はベビープログラム講座で、2～6か月までの初めて赤ちゃんをもたれた方を対象に読み聞かせの大切さを伝える予定。
- 会 長 数年前、パパママ講座等に時間を少しもらい、読み聞かせの必要性や良さを伝えたいと申し入れをしたことがあるができなかった。その時図書館で実施すればいいという事もあったが、それが形を変えて進んでほしい。
- 委 員 孫育て講座やBP講座、図書館職員の事業PRの実施。図書館職員はありとあらゆること、貸出返却だけでないことが分かる。大変だ。文化・生涯学習課が中間に入り図書館職員が事業のPRに行くのか。
- 事務局 孫育て講座は公民館講座の一つ。講座の講師からもお話いただくが、絵本で子育ての観点から孫育て等の一助となればと5分程度こちらからも読み聞かせの大切さなどを伝える。図書館ですできればよいがこの状況の中で、既存の講座を利用させていただいた。
- 委 員 孫育て講座は老人会などにPRしてはどうか。
- 事務局 呼んでいただければ可能な限り対応したい。市のふれあい講座のメニューもある。
- 委 員 ホームページは見る人しか見ない。お年寄りは分からない。PRの方法を。図書館にあれば何をやっているかわかるがわからない。各課もやっていると思うが、学校教育課の中に図書館があるのか。
- 事務局 教育委員会の中に学校教育課や図書館がある。プランでは幼児期から読書習慣を形成したい考えがある。家庭での読書に親しむ機会を増やしたい。これまでは親向けのものだったが、視点を変えて家族みんなで家庭内の読書活動を推進したい。祖父母世代にも活躍してほしいため、まず一步の取り組みとして孫育て講座に参加した。今後具体的に何ができるか、時間が許せば展開したい。
- 委 員 ありとあらゆる対象者があり、「本のことだから図書館やりなさい」だと皆さん大変。それぞれの課が主体性をもってやっているのと思うが。
- 事務局 各関係課と連携して全体に事業を進めたい。
- 委 員 ブックスタートは1年前、健康管理センターで4か月検診時にボランティアが1冊ずつ説明や読み聞かせの方法を伝えたが、興味がない方と熱心な方との差がある。だからブックスタートの時間は貴重な時間だった。今はできなくて残念。なにもしないより絵本を送った方がよいが、何かできないものか。おすすめ絵本のリストを同封するくらいか。
- 事務局 送るだけの味気ないものになっている。コロナ対策ができ、検診の場に受け入れ可能になれば、これまでのスタイルに近づけるようになると考えている。職員が受付に行って絵本を紹介するだけでもいい。何とか対策を取って、最大限何ができるかを考え、来年度以降進めたい。
- 事務局 現在絵本と一緒に「ふぁーすとぶっく」、「せかんどぶっく」のリストやえほん亭さんの開催しているこんにちは絵本の案内を送っている。
- 委 員 「こんにちは絵本」開催の時、お母さんは働いていて来られないと、祖父母や父親が参加する。図書館でもできると良い。
- 事務局 来年度図書館でもできないか考えさせてもらっている。

委員 ジャングルキッズはどうしているのか。
委員 中止していた時期もあった。今月再開。時間も短く。
委員 ボランティアでなく職員が行くと聞いたが。
事務局 2ヶ月に一度、図書館職員が行った。今年度は3回実施。感染リスクが高くなるため、ボランティアでなく職員で対応した。元気館の許可が出ない限り難しく3回にとどまった。
委員 途切れずに実施してほしい。
事務局 感染対策をしっかりとし、回数が少なくても継続が大事。進めていきたい。

(5) 令和3（2021）年度予算要求概要（資料5）

(6) 利用者の意見要望及び対応について（資料6）

(7) その他

会長 (5) (6) (7) について報告をお願いしたい。
事務局 予算要求概要について、本来は予算を組む前に御意見をいただければよかったが、今回要求後になった。(資料5説明) 意見要望は3件。(資料6説明) その他はなし。
会長 意見要望が少なかった。図書館の対応が良かったこともあるが、利用者の減少によるものか。何か御意見はないか。————なし。

3 協議事項

(1) 令和3（2021）年度事業計画概要について（資料7）

事務局 事業計画概要は現在考えている暫定案となるもの。御意見・御要望等を組み込んでいきたい。(資料7説明) 来年度は開館25周年を迎える。1つの節目と考えているが、大きな事業は行わず継続する。展示会として寄贈資料展の開催を予定している。
会長 協議事項についていかがか。
委員 寄贈資料展がどうなるのか。
委員 寄贈資料があることが分かった。
事務局 本だけでなく、歴史的資料といった様々なものがあり、カテゴライズできない。寄贈資料とくくって企画した。
委員 物は博物館だと思っていた。
事務局 本来、保管や展示には博物館が向いている。展示するのは当館に御寄贈いただいたもの。博物館にも相談声をかけることがある。市民の皆様にも御覧いただきたい。
事務局 博物館と連携を取っている。学芸員にも相談している。
委員 勉強になった。
委員 こういう企画をするからと集めて展示するわけではないのか。屏風や額等、家にあるものをもらってもらえるのか。
事務局 あくまでも当館にあるもので展示する。企画展の後は、御寄贈の相談があった。当館の収蔵能力に限界もある。御寄贈の相談は受けるが、当館で選場させていただきたい。
会長 事業計画全般いかがか。
委員 保育園もコロナに振り回された一年。事業計画が計画通りいくかはコロナの動向次第。図書館は不特定多数が集まる施設。神経を使うと感じる。無理のない範囲で状況を見てほしい。
会長 情報発信とサービスの向上に本の宅配貸し出しサービスとあるが、どんなサービスか。
事務局 御希望に応じて有料で宅配するもの。以前勤務の都合で利用された方がいた。
委員 他の図書館から本を借りる「相互貸借」は利用者負担か。
事務局 図書館同士で借りて、利用者に提供するサービス。県立図書館からの相互貸借は無料。

県立図書館以外の図書館から借りる場合は利用者負担。県立図書館は送料無料なので、利用できる蔵書が増える。利用も増えている。ぜひ利用してほしい。

会長 サービスがあるにもかかわらず、知らないことがある。

事務局 PR 不足で申し訳ない。

委員 元気館にある小さな部屋の本棚は図書館が関わっているか。

事務局 元気館が管理している。

委員 昨年までは本棚の内容がどうかと思ったが、今年度は本がそろってうれしかった。図書館がアドバイスしたのか？

事務局 当初は関わった場面もあったと思うが、現在特にアドバイスはしていない。意識が変わったのではないか。

委員 今年度から元気館に子ども課が移り、多くの保護者が元気館に行くようになった。子どもの拠点。

委員 子どもの付き添いで、高齢者の利用も増えた。市民の目が向く場所。図書館が抑えておいたほうが良い場所。

(2) 意見交換

委員 子どもの読書プランに対抗して、大人の読書プランを考えたい。柏崎市の郷土資料の基礎資料、データでなく紙の郷土資料の目録をつくりたい。

児童コーナーにある見出しの番号が見にくい。わかりやすくしてほしい。

新聞記事用の CD-ROM から記事をコピー機から印刷する際、操作に迷う。わかりやすくしてほしい。

開架郷土資料のコーナーに佐渡の郷土資料が欲しい。図書館が古本屋から資料を購入するには制限があるのか。古本は買えないのか。

委員 購入でなく相互貸借の制度を使えば良い。

委員 相互貸借は知っている。蔵書にしてほしいということ。

事務局 古本の購入は制限があり難しい。

委員 良い本が図書館にあってほしい。

事務局 見出しの番号が見にくい、コピー機の操作は改善していきたい。古本の購入は難しい。検討していく。

委員 新潟県立図書館協会報に南魚沼市立図書館の読書貯金通帳の記事がある。導入はどうか。

委員 読書手帳の発展したもの。

事務局 以前検討したが予算の関係で断念し、代替で手作りした「よむっこノート」を利用している。

委員 南魚沼は、印刷機を企業が寄付した事例。

事務局 印刷機が特殊。今後も手作りの「よむっこノート」で対応したい。

会長 以上で議事は終了する。

4 その他

事務局 真貝新一写真展について PR したい。3/31-4/17 まで開催する。真貝新一さんは昭和を通じて報道写真家として活躍。御遺族から 1 万点以上の写真を寄贈いただいた。様々な機会に活用していたが、個展をしていなかった。没後 50 年の節目に写真展を計画した。これを機に真貝さんの全写真をデジタル化した。今後活用していきたい。展示はインターネットでもご覧いただけるよう準備している。100 点展示予定。無料なのでご覧いただきたい。

事務局 欠席委員よりメッセージをいただいた。学校読書支援員の活動について助かっていると

いう内容。報告する。

5 閉会あいさつ（副会長）

副会長 思いもかけないコロナ対策。日頃の業務にコロナの対策が加わる。自身も図書館業務に関わる中、職員の大変さが分かる。災害等が起きると文化芸術にしわ寄せがいき、全てやめればよいとなるが、人として生きるには精神的なことが必要。何ができるか探りながら、光を絶やさないでいけたら。図書館は令和3年度の事業も着々と進めていただき、いろいろな世代に向けて考えている。家庭で読書が日常にできるように繋がればよい。協力できることはしていきたい。

事務局 これで第2回柏崎市立図書館協議会を終了する。ありがとうございました。